

## 第6学年 国語 5月28日(水)

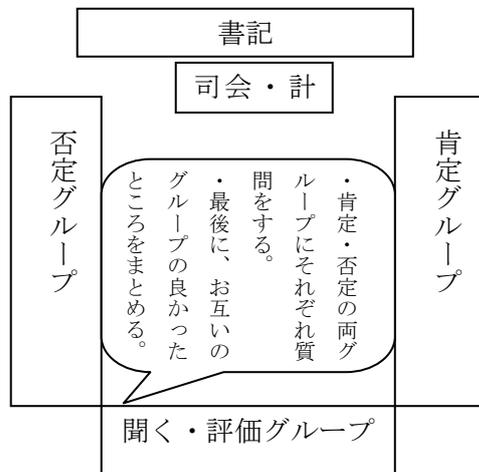
### 単元名 「学級討論会をしよう」

6年生になり、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする中で、考えを深め、互いに高め合えるようになることを目標に、本単元を設定しました。討論会では、自分の立場の意見を考えたり、相手の立場の意見を予測し反論を考えたりすることが求められます。これらの活動を通して、互いの関わり方をより深く考えられるようにしていきたいと考えました。

#### ◆様々な立場に立って討論を行おう

この単元では、テーマごとに肯定グループと否定グループと聞く・評価グループの3つに分かれて、討論を行いました。

〈教室形態〉



しかし、必ずしも自分の考えではない立場で討論することもあります。そこで、違った立場からの考えを出し合い、相手を納得させられるような具体例を用意することを学びました。そして、提案する順番や、伝え方の工夫をする班も出てきて、グループで作戦会議が盛り上がりました。

この形態での討論会に慣れると、相手意識をもって話ができってきました。

#### ◆「聞く」ことの大切さを教えていただく

講師に、国際コーチ連盟の齊藤先生をお迎えし、話し手と聞き手に分かれて、上手な聞き方のワークショップを行いました。

聞くことの「あいうえお」を活用した聞き方で聞いてもらえると、話し手も良い気持ちになることを学びました。

#### ◆SNSは本当に必要か討論しました

研究授業当日の討論のテーマは、「SNSでのやりとりは必要か」で行いました。

現在、6年生の中で携帯電話を持っている児童は全体の6割を超えていました。学習の始めに、SNSはどのようなものか、便利さと危険性について詳しく調べて、肯定・否定の両方の立場から意見を考えました。

SNSは、世界中のたくさんの人とつながれる一方、個人情報の流出やなりすまし、ネットいじめの危険性があることを調べ、具体的な事例を準備しました。

討論会では、互いの意見のやりとりが活発に行われました。自分の立場のことだけでなく、相手が言いそうな意見を考えながら準備をしてきたので、話し合いがスムーズに進み、予想外の質問が出たときにも、グループで話し合っ落ちて対処できました。

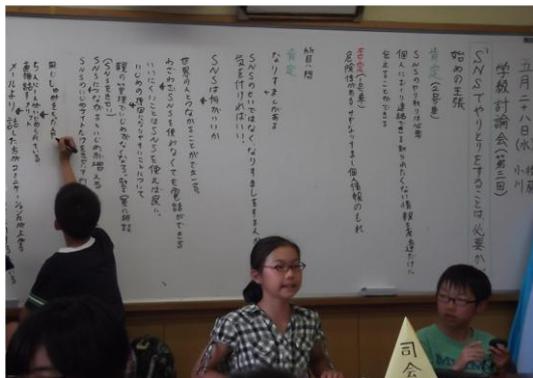
#### ◆討論会を終え、自分自身の考えをまとめよう

討論会の時には、肯定否定それぞれに分かれて議論をしましたが、討論を終えて、正直にSNSについてどう考えているか振り返りました。

SNSを使いたいという意見の中にも、きちんとマナーを守って使用していくことや、家族でルールを決めていくことの大切さをワークシートに記述していました。

今回の学習で学んだ、様々な立場の人の考え方を予測したり、聞いたり、付け加えたりすることを、普段の関わりにも生かしてほしいです。

## 国語の学習を通して…子どもの感想



今回の討論会では、プラスの意見が増えて良かったと思いました。プラスにするためには、相手を認めていかなければなりません。そこが今回できていたなあと思いました。(Tさん)

大人になったとき SNS を使うときが来たら、いじめだけはしてはいけないと思いました。討論会は、相手を否定するばかりでなく、認めることができ良かったです。(Uさん)

↑司会・書記・計時の係を中心に議会を進めました。

肯定と否定それぞれの意見を言い合うことで、「なるほど」「良かった」と思ったことがたくさんありました。いじめや詐欺などの注意し、気をつけて活用していきたいです。(Sさん)

肯定否定どちらのグループも意見もしっかり認め合い、意見を主張できました。強調したい部分は、画用紙で説明を分かりやすく説明していました。3回の討論会で1番良かったです。(Tさん)



↑発言の内容がより説得力のあるように工夫するためにグループ皆で吟味しています。



↑発表の時には、具体的な資料を用意し、照らし合わせながら発表できました。



↑評価グループは、賛成・反対の互いの意見の良かったところをまとめています。

これからの社会 SNS は不可欠になってくる。それをうまく使いこなせるようにしなければならない。そのために、相手を認めることが大切だと思った。(Mさん)



### その後の学習では…

今回の「学級討論会をしよう」の単元では、まず、相手の意見をしっかり聞き、それを認めることを意識して行いました。そして、考えを付け加えたり、違った視点からアプローチしたりすることで内容を深めていきました。それが児童の感想の中で、「認め合う」や「プラスの意見」という形で良かったこととして振り返りができていました。普段の生活から、相手を認め合い、さらに良くしようとするすることで、より良い関係作りができるように意識してほしいと思います。



